



Tech3 E-racing 大久保光

2023・6. 17-18 ドイツ・ザクセンリンク

予選 5 番手 レース1 決勝-10 位。レース2 決勝-8 位。



2019年にロードレース世界選手権でMotoEが開始されて初めてドイツのザクセンリンクで開催された。Tech3 E-Racingの大久保光は、前戦のムジェッロからの連戦に挑んだ。金曜日の早朝に行われた最初のプラクティスセッションの開始は、ウェット路面だったため、レインタイヤで走行開始したが、路面状況を確認した大久保はタイヤを交換しタイム更新に成功する。大久保は予選セッションでプッシュを続け上位12台が進出するQ2への出場権を獲得、ウェットコンディションを攻め、最終的に5番手タイムを記録して、セカンドローを獲得しました。

レース1決勝は、大久保はうまくペースを掴むことが出来ずに10位でチェッカー。レース2決勝に向けてマシンセットを見直し、調子を上げましたが、終盤に雨が落ち、終盤に赤旗が提示されレース成立となった。大久保は8位でレースを終えた。



大久保光「ザクセンリンクを走るのは初めてでしたが、コースが小さく、ミニバイクコースのような印象で、比較的、好きなサーキットでした。雨は、得意ではないのですが、しっかり挑んで、タイムアップ出来たので、満足感がありました。グリッドが良く、上位を狙いたかったのですが、レース1では、アベレージを保つことが出来ずに追い下げのレースになりました。レース1に向けてマシンセットを、リヤを上げ、ライディングポジションを高めにセットしました。フロントをプッシュすると路面との接地感がなくなるので、そこに頼らないセットにトライしたことが上手く行き、アベレージを保てましたし、結果は8位でしたが、内容的にはポジティブなので、次戦への手応えを得ることが出来ました。ドウカティを学ぶことが出来た。まだ、まだ、完璧とは言えませんが、前進出来たレースでした。次はトップ5フィニッシュを目指し努力し行きます」

次戦は、6月24-25日に、オランダGPがアッセンで行われる。